

《後三条天皇の親政》

↓ 後三条は白河天皇の異母弟 (実仁親王) 皇太弟とする

《[a. ]上皇 (法皇) による院政》

① [b. ]開始 (1086)

皇太弟の死去後に、自分の皇子である堀河天皇に譲位し上皇となった

⇒院庁を設置し、天皇家の家長 (「c. 」) として政治の実権を握った

② 院近臣の形成

受領層 (中下級貴族) や后妃・乳母一族を中心に院の側近集団が形成される

⇒院司として上皇に仕え、後に朝廷での官職も上昇し太政官に進出

③ [d. ]の設置

院の御所の警備のために設置し、伊勢平氏の平正盛 (清盛の祖父) など源平の武士を採用

⇒南都北嶺 (興福寺・延暦寺) の強訴の鎮圧などでも活躍

④ 宗教政策

[e. ]の建立 (院政期建立の6つの寺院を六勝寺という) や熊野詣の実施

⑤ 「天下三不如意」…白河上皇を悩ませるもの

鴨川の洪水・双六の目・山法師 (延暦寺の僧兵による強訴)

↓ 堀河・鳥羽・崇徳と3代に渡って院政を行った

《[f. ]上皇 (法皇) による院政》

① 院政の開始

白河法皇死後、崇徳天皇を譲位させ、近衛天皇が3歳で即位

② 後白河天皇 (崇徳の弟) の即位

近衛天皇が早世したため即位し、崇徳上皇が直系として院政を敷く可能性が無くなる

↓ 鳥羽上皇の死去

《[g. ]》 (1156) …崇徳上皇側が敗北

天皇家	摂関家	平氏	源氏
後白河天皇 (弟)	藤原 [h. ] (兄)	[i. ] (忠盛の子)	[j. ] (為義の子)
VS			
[k. ]上皇 (兄)	藤原 [l. ] (弟)	平忠正 (清盛の叔父)	源為義 (義親の子)・源為朝 (義朝の弟)

↓

《[m. ]上皇 (法皇) による院政》

① 二条天皇への譲位…二条親政派と後白河院政派の対立

② 藤原通憲 (n. ) による政権運営

↓ 後白河に気に入られ出世した院近臣藤原信頼と対立

③ [o. ] (1159)

院近臣 [p. ] が源義朝を味方につけて挙兵し、信西を滅ぼした

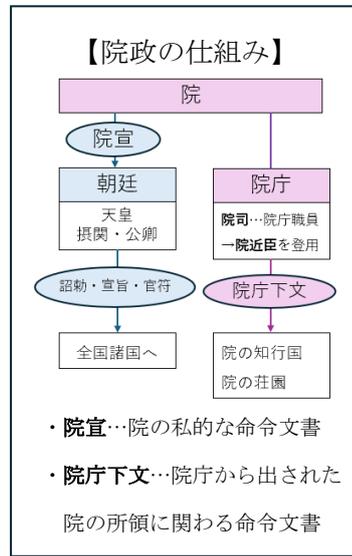
しかし、支持を得られず平清盛に敗北して滅ぶ

⇒信西打倒に加担した二条親政派も政界から一掃された

④ [q. ]の台頭

清盛は後白河上皇の院政を武力で支えて昇進を遂げ太政大臣となる (1167)

⇒当初、両者は協調関係にあったが、徐々に平氏と院近臣が対立



【院の経済基盤】

・寄進地系荘園

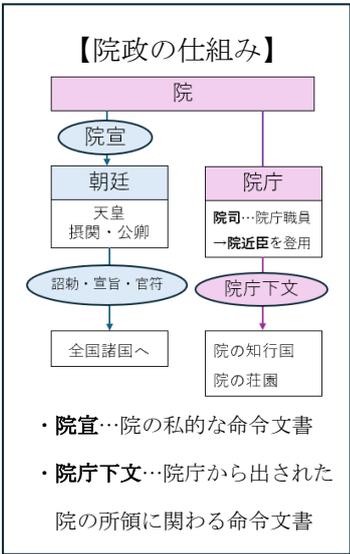
①八条院領

鳥羽院の時代に形成 (大覚寺統が継承)

②長講堂領

後白河院の時代に形成 (持明院統が継承)

・院分国…院の知行国



《後三条天皇の親政》

↓ 後三条は白河天皇の異母弟 (実仁親王) 皇太弟とする

《[a. 白河]上皇 (法皇) による院政》

① [b. 院政] 開始 (1086)

皇太弟の死去後に、自分の皇子である堀河天皇に譲位し上皇となった

⇒院庁を設置し、天皇家の家長 (「c. 治天の君」) として政治の実権を握った

② 院近臣の形成

受領層 (中下級貴族) や后妃・乳母一族を中心に院の側近集団が形成される

⇒院司として上皇に仕え、後に朝廷での官職も上昇し太政官に進出

③ [d. 北面の武士] の設置

院の御所の警備のために設置し、伊勢平氏の平正盛 (清盛の祖父) など源平の武士を採用

⇒南都北嶺 (興福寺・延暦寺) の強訴の鎮圧などでも活躍

④ 宗教政策

[e. 法勝寺] の建立 (院政期建立の6つの寺院を六勝寺という) や熊野詣の実施

⑤ 「天下三不如意」…白河上皇を悩ませるもの

鴨川の洪水・双六の目・山法師 (延暦寺の僧兵による強訴)



堀河・鳥羽・崇徳と3代に渡って院政を行った

《[f. 鳥羽]上皇 (法皇) による院政》

① 院政の開始

白河法皇死後、崇徳天皇を譲位させ、近衛天皇が3歳で即位

② 後白河天皇 (崇徳の弟) の即位

近衛天皇が早世したため即位し、崇徳上皇が直系として院政を敷く可能性が無くなる



鳥羽上皇の死去

**【院の経済基盤】**

・寄進地系荘園

①八条院領

鳥羽院の時代に形成 (大覚寺統が継承)

②長講堂領

後白河院の時代に形成 (持明院統が継承)

・院分国…院の知行国

《[g. 保元の乱]》 (1156) …崇徳上皇側が敗北

天皇家	摂関家	平氏	源氏
後白河天皇 (弟)	藤原[h. 忠通] (兄)	[i. 平清盛] (忠盛の子)	[j. 源義朝] (為義の子)
VS			
[k. 崇徳] 上皇 (兄)	藤原[l. 頼長] (弟)	平忠正 (清盛の叔父)	源為義 (義親の子)・源為朝 (義朝の弟)



《[m. 後白河]上皇 (法皇) による院政》

① 二条天皇への譲位…二条親政派と後白河院政派の対立

② 藤原通憲 (n. 信西) による政権運営



後白河に気に入られ出世した院近臣藤原信頼と対立

③ [o. 平治の乱] (1159)

院近臣[p. 藤原信頼]が源義朝を味方につけて挙兵し、信西を滅ぼした

しかし、支持を得られず平清盛に敗北して滅ぶ

⇒信西打倒に加担した二条親政派も政界から一掃された

④ [q. 平清盛] の台頭

清盛は後白河上皇の院政を武力で支えて昇進を遂げ太政大臣となる (1167)

⇒当初、両者は協調関係にあったが、徐々に平氏と院近臣が対立